

大丈夫?!アメリカ産牛肉

日米公開討論会

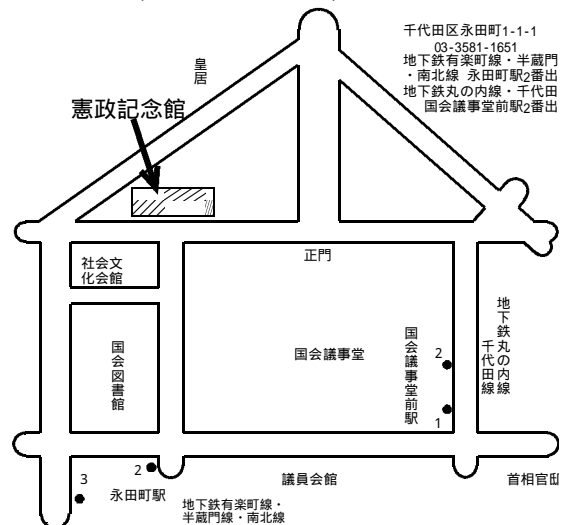
7月26日(火) 15:00 ~ 17:00 (開場 14:30 ~)

会場: 憲政記念館講堂 千代田区永田町1-1-1 (国会議事堂前) 03-3581-1651

2003年12月にアメリカでBSE(牛海綿状脳症)が発見されて以来、日本はアメリカ産牛肉・牛肉製品の輸入を停止しています。いま、アメリカ産の牛肉等の輸入再開に関して、厚生労働省と農林水産省は食品安全委員会に諮問を提出し、検討が行われています。また、アメリカ政府は日本に対して、早期の輸入再開を求めています。

6月には2頭目のBSEが確認されており、消費者・市民は、アメリカ産の牛肉等の輸入再開に対して、多くの疑問や危惧を抱いています。

私たちが抱いている疑問について、アメリカ大使館農務部担当者、日本の消費者・生産者・研究者との討論を行い、率直な疑問や意見を交換しましょう。



地下鉄「永田町駅」2番出口5分
「国会議事堂前駅」2番出口7分
どなたでも参加できます
参加費 500円

出席者

アメリカ側 クレイ・ハミルトン米国大使館首席農務官

日本側 研究者 - 金子 清俊 (東京医科大学医学部主任教授・

食品安全委員会プリオン専門調査会座長代理)

消費者 - 山浦 康明 (日本消費者連盟副代表運営委員)

生産者 - 鎌谷 一也 (鳥取県畜産農協専務理事・全日農副会長・酪農家)

司会 三宅 征子 (食の安全・監視市民委員会)

呼びかけ 日本消費者連盟、食の安全・監視市民委員会、大地を守る会、日本有機農業研究会、食の自給と安全の全国行動、食の安全と農の自立をめざす全国連絡会、フォーラム平和・人権・環境、全国農民組織連絡会議 (7月8日現在)

連絡先 日消連 (03-5155-4765・山浦) 全日農 (03-3451-4721・御地合)
フォーラム平和・人権・環境 (03-5289-8222・市村)